

求められる職員像

◇市民に信頼される職員◇

市民に信頼される職員となるためには、公務員が全体の奉仕者として公共の利益のために勤務する者であることを深く認識し、公務員倫理に照らして自らを律していかねばなりません。さらに、常に市民の立場に立って問題点やニーズを把握し、また市民の要望等に対しては各部署間の連携を取りながら、迅速に対応することを心がけるなど、市民主体の行政を実現することが必要です。

◇郷土愛を持つ職員◇

飯塚市という地方自治体が存在する意義は、ひとえにこの地域の発展と市民の福祉の向上を実現することにあります。市民とともにこの地域を住み良いまちにし、市民の満足を高めようとする郷土愛が飯塚市の職員としての出発点であると同時に、退職するまで職員一人ひとりが欠くことのできないスタンスです。

◇市民と協働してまちづくりをする職員◇

まちづくりの目的は、市民の負託に応え、市民が豊かさと生きがいを実感できる地域社会を構築することにあります。このためには行政のみならず市民、ボランティア団体、企業等がそれぞれの役割を発揮し、お互いに補完しながら二人三脚で魅力あるまちづくりを進めていくことが重要となります。さらに、市民と協働したまちづくりを推進するためには、職員自身も地域で生きる一員として、まちづくり事業にボランティアとして参加することも必要です。

◇新たな課題に立ち向かう職員◇

地方分権の推進により、他にモデルや教科書がない時代を迎えつつあることから、地域の特性に合った施策を立案し、本市独自のまちづくりを推進していかねばなりません。さらに、施策の実施にあたっては、市民の負担を伴うことも多いことから、市民にわかりやすく施策の必要性を説明し、理解を得なければなりません。このためには、行政のプロとして緻密な論理構成力と粘り強い行動力を持ち、新たな課題に立ち向かう職員が求められます。

◇コスト意識のある職員◇

本市の施策に要する費用や職員の給与などは、市民から信託された税金でまかなわれています。このことを十分認識し事務の効率化・省力化を図るとともに、施策の遂行にあたっては費用対効果を念頭に置きながら最少の費用で最大の効果をあげるよう、それぞれの持ち場で常にコスト意識を持つことが必要です。

◇心身ともにタフな職員◇

心身の健康は、人間活動の基盤であることから、自己の身体と精神の状態を常に適切に保持しなければなりません。どんな状況に直面しても、そこから発生するストレスをコントロールし、意欲を持って業務に取り組み、持てる能力を十分に発揮できるよう精神面におけるゆとり・力強さ（メンタル・タフネス）を備えることが特に強く求められます。